

研究課題 (テーマ)		ダ・ヴィンチ祭を活用した学生の企画力・プレゼンテーション能力向上プログラム	
研究者	所属学科等	職	氏名
岡田敏美	地域連携センター	所長	
研究結果の概要			
<p>本学の学生・院生の表現力や実践力を鍛える上では、学生が主体となって科学技術に関するイベントを企画し実行する機会を与えることが有効であると考えられる。幸いに、本学では、青少年への科学技術への誘いの機会として、ダ・ヴィンチ祭が毎年実施されている。これには大変多くの小・中学生の参加があるが、中・高生の参加も重要であると考えられる。</p> <p>このために、大学院生（学生）が主体となって、中・高生を対象とした科学技術に関するイベントを学生自ら考え、イベントの準備や参加者への説明等を行うことにより、企画力・運営力を養成することを目的とする機会を設けた。</p> <p>大学院各専攻に対して企画募集したところ、4専攻から以下の応募があった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(機械) 製作教室：リニアモーターカーをつくろう (竹井准教授) ・(知能) 大学探検隊：目で操作してゲームを楽しもう (中村教授) ・(情報) 製作教室：電波・宝探し (岡田教授) ・(生物) 大学探検隊：食品に使われている微生物を見てみよう!! (五十嵐教授) <p>各企画には、院生と学部生の熱心な研究による面白い実験が導入された。この結果、昨年よりも多くの中・高生の参加があった(2年連続で参加者が増加した)。</p> <p>このようなイベントの企画と実施により、学生・院生の総合的なプレゼン能力が醸成されたものと考えられる。今後、更に多くの学生・院生グループが参加することにより、本学の学生・院生の企画力・プレゼンテーション能力向のために資する良い機会となると同時に、中・高生の科学技術の理解増進に寄与する機会であると考えられる。</p>			
今後の展開			
<p>本企画により、院生の企画力、プレゼン能力が醸成されたものと考えられる。今後、更に多くの院生グループの参加が、学生の企画力・プレゼンテーション能力向上のために良い機会となると考えられる。</p>			